

## 「令和4年度病害虫発生予報第9号」の発表について

○向こう1か月の主要な病害虫の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 野菜では、トマトのコナジラミ類の発生が、関東、東海及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 果樹や茶では、翌年の病害虫防除を効率的かつ効果的に実施するため、病害虫の越冬量を低下させ、翌春の発生を抑制することが重要です。せん定作業にあわせて、感染落葉や病部を除去し、すみやかに園内土中に埋設するか、園外に持ち出すなど、適切に処理してください。また、ハダニ類及びカイガラムシ類の害虫の発生が多かった園地では、樹の粗皮削りやマシン油の散布による防除を実施してください。茶のカンザワハダニが多発した園地では、秋整枝後の休眠前（秋冬期）又は休眠明け（早春期）に薬剤散布等の防除を実施してください。

この他、きゅうりのコナジラミ類等、地域によっては発生が多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

### 国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等を分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。

本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

国の病害虫発生予察情報及び都道府県病害虫防除所のリンク

参照URL:[https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120104\\_yoho.html](https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120104_yoho.html)

### 気象

気象庁の向こう1か月の予報（11月3日付け）では、気温は西日本で平年並か高いと予想されています。降水量は全国的にほぼ平年並と予想されています。

気象庁ホームページ

参照URL:[https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001\\_00.html](https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001_00.html)（外部リンク）

## 野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
きゅうり	コナジラミ類	南関東、東海、近畿、北九州	北関東、南九州
トマト	コナジラミ類	関東、東海、四国	九州
ねぎ	アザミウマ類	南関東	北関東
作物共通	オオタバコガ	北関東、東海、近畿	南関東、四国、北九州
	シロイチモジヨトウ	北関東	南関東、近畿、北九州
	ハスモンヨトウ	近畿、四国	中国、九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

### トマト

・コナジラミ類の発生が、関東、東海及び四国の一部の地域で多くなると予想されており、愛知県及び徳島県から注意報が発表されています。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルス病を媒介することが知られています。ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

### きゅうり

・コナジラミ類の発生が、南関東、東海、近畿及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルスを媒介することが知られています。ほ場内の発生状況に注意しつつ、都道府県から発表される発生予察情報等を参考に、発生初期に防除を実施してください。また、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

### 作物共通

・オオタバコガの発生が、北関東、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。幼虫の成育が進むと薬剤の効果が低下し、また、幼虫が植物体に食入してからでは防除が困難となるため、ふ化してから食入する前の若齢幼虫期が防除適期になります。ほ場の観察をきめ細かく行い、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

・シロイチモジヨトウの発生が、北関東の一部の地域で多くなると予想されています。幼虫の成育が進むと薬剤の効果が低下するので、若齢幼虫期が防除適期になります。ほ場の観察をきめ細かく行い、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

・ハスモンヨトウの発生が、近畿及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。幼虫の成育が進むと薬剤の効果が低下するので、若齢幼虫期が防除適期になります。ほ場の観察をきめ細かく行い、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

## 果樹・茶

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
茶	カンザワハダニ		南関東、近畿、南九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

## 果樹・茶共通

・果樹や茶では、翌年の病害虫防除を効率的かつ効果的に実施するため、病害虫の越冬量を低下させ、翌春の発生を抑制することが重要です。せん定作業に合わせて、感染落葉や病部を除去し、速やかに園内土中に埋設するか、園外に持ち出すなど、適切に処理してください。また、ハダニ類及びカイガラムシ類の害虫の発生が多かった園地では、樹の粗皮削りやマシン油の散布による防除を実施してください。茶のカンザワハダニの発生が多かった園地では、秋整枝後の休眠前（秋冬期）又は休眠明け（早春期）に薬剤散布等の防除を実施してください。

## 都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和4年10月12日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

### 警報

発表はありません。

注) 重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

### 注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
10月19日	沖縄県	水稲	コブノメイガ
10月28日	和歌山県	さやえんどう、実えんどう	ウラナミシジミ
11月1日	徳島県	トマト、ミニトマト	コナジラミ類
11月1日	愛知県	トマト	コナジラミ類

注) 警報を発表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早急に防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

### 特殊報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
10月19日	宮崎県	きゅうり	クロテンコナカイガラムシ
10月19日	京都府	メボウキ（バジル）	メボウキ（バジル）べと病
10月19日	長崎県	かんきつ	トビイロシワアリ
10月21日	埼玉県	なす	タバコノミハムシ
10月26日	岩手県	きく	クロゲハナアザミウマ
10月26日	千葉県	アズキ	アズキさび病
10月27日	大阪府	さつまいも	サツマイモ基腐病
11月1日	大分県	トマト	クロテンコナカイガラムシ
11月2日	静岡県	さつまいも	アリモドキゾウムシ

注)各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

## サツマイモ基腐病の発生状況について

本病については、平成30年度に宮崎県、鹿児島県及び沖縄県から、さつまいもの地際部から茎が枯れ、いもが腐る茎・根腐敗症状の原因菌の一つとして特殊報が発表されております。これまでに28都道府県で、本病の発生が確認され、特殊報が発表されました。本病は感染したいもや苗によりほ場内に持ち込まれるため、次期植付時には、健全な種苗の確保や、植付前の種苗及び苗床の消毒を実施してください。また、本病のまん延防止には、早期発見が重要であることから、都道府県が発表する発生情報等を参考にしながら、ほ場観察を行ってください。なお、疑わしい症状を見つけた場合には、都道府県病害虫防除所等まで御連絡をお願いします。

## 次期作におけるスクミリンゴガイ対策について

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の発生の多かったほ場では、翌春の発生を抑えるため、収穫後には秋期の石灰窒素の散布や冬期の耕うんによる殺貝を実施してください。また、冬期の水路の泥上げにより、越冬個体を寒風にさらすことで殺貝効果が期待されるので、地域における取組を検討してください。なお、耕うん機等の農機具に付着した泥とともに、スクミリンゴガイが他のほ場へ拡散する可能性があります。農機具の泥はよく落としてから移動させるよう心がけてください。農林水産省では、スクミリンゴガイの被害防止対策について、ホームページに掲載しています。詳しくは以下のURLをご覧ください。

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の被害防止対策について

参照URL:<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryoku2/sukumi/sukumi.html>

## 用語解説

（地域）

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

（発生量（程度））

多い（高い）：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い（やや高い）：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない(やや低い) : 平年並の外側20%の度数の入る幅  
少ない(低い) : やや少ないの外側10%の度数の入る幅  
(平年値は過去10年間の平均)

(参考) 今後の発表予定日  
第10号: 令和5年3月8日(水曜日)

(参考) これまでの発表  
第1号: 4月13日(水曜日)  
第2号: 5月11日(水曜日)  
第3号: 6月8日(水曜日)  
第4号: 7月6日(水曜日)  
第5号: 7月20日(水曜日)  
第6号: 8月10日(水曜日)  
第7号: 9月7日(水曜日)  
第8号: 10月12日(水曜日)

**【お問合せ先】**

消費・安全局植物防疫課

担当者: 岡田、麻野、中村、吉田

代表: 03-3502-8111 (内線4562)

ダイヤルイン: 03-3502-3382